

Mizuho Daily Market Report

2024/4/16

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	153.90	154.28	+1.05	+2.46
EUR	1.0660	1.0624	▲0.0019	▲0.0235
AUD	0.6484	0.6442	▲0.0025	▲0.0162
SGD	1.3606	1.3630	+0.0016	+0.0155
CNY	7.2386	7.2381	+0.0008	+0.0073
MYR	4.7793	4.7800	+0.0095	+0.0275
THB	36.74	36.61	+0.00	▲0.04
IDR	15869	15845	+0	+0
PHP	56.83	56.82	+0.28	+0.33
INR	83.44	83.45	+0.03	+0.14
VND	25076	25176	+145	+202

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.601%	+8.0 bp	+18.2 bp
日本(10年)	0.864%	+0.9 bp	+6.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.440%	+8.1 bp	+0.5 bp
オーストラリア(5年)	3.906%	▲0.9 bp	+7.6 bp
シンガポール(5年)	3.286%	+0.3 bp	+8.9 bp
中国(5年)	2.121%	+1.6 bp	▲5.4 bp
マレーシア(5年)	3.723%	▲0.1 bp	+2.3 bp
タイ(5年)	2.370%	+0.0 bp	+10.0 bp
インドネシア(5年)	6.579%	+0.0 bp	+0.0 bp
フィリピン(5年)	6.636%	+9.1 bp	+31.1 bp
インド(5年)	7.171%	▲0.4 bp	+4.5 bp
ベトナム(5年)	2.210%	+8.0 bp	+3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,735.11	▲0.7%	▲3.0%
N225(日本)	39,232.80	▲0.7%	▲0.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,984.48	+0.6%	▲1.2%
ASX(オーストラリア)	4,338.90	▲0.3%	+0.1%
FTSE1(シンガポール)	3,183.61	▲1.0%	▲1.0%
SSEC(中国)	3,057.38	+1.3%	+0.3%
SENSEX(インド)	73,399.78	▲1.1%	▲1.8%
JKSE(インドネシア)	7,286.88	+0.0%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	1,542.53	▲0.5%	▲1.1%
PSE(フィリピン)	6,562.43	▲1.5%	▲2.7%
SETI(タイ)	1,396.38	+0.0%	+1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,216.61	▲4.7%	▲2.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	298.18	+0.1%	+0.2%
金	2,383.34	+1.7%	+1.9%
原油(WTI)	85.41	▲0.3%	▲1.2%
銅	9,499.47	+1.8%	+2.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	153.60	—	154.90
EUR/USD	1.0540	—	1.0750
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3500	—	1.3680
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.90	—	36.98
USD/IDR	15830	—	16100
USD/PHP	55.90	—	57.10
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	24,600	—	25,200

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

ドル円は153円台前半でアジア時間オープンすると、一方向的に上昇する展開。仲値後には153.50付近のストップを巻き込みながら一段と上昇。その後若干調整を挟むも、クロス円の買いや株高を背景にドル円もじり高推移が継続し153円台後半にて海外へ渡った。アジア通貨は全般的に軟調推移。イランによるイスラエルへの攻撃を受けリスクオフの動きが強まる中、アジア通貨は総じて売られる展開となった。

海外市場のドル円は153円台後半でNYオープン。NY朝方は4月NY連銀製造業景況指数が予想を下回るものの、同時に発表された3月小売売上高がヘッドライン、除く自動車ともに予想を上回り、154円台半ばまで上昇する。この水準では介入警戒もあり上値が抑えられる中、イスラエルの国防相がイランに対しては報復しか選択肢はないと米国に伝えたとの報道を受け、リスク回避の動きに一旦153円台後半まで下落するも、その後のフォローアップはなく、すぐに154円台を回復。その後は底堅い推移が続き154円台前半でクロスした。

【金利】

米債利回りは上昇。NY朝方に発表された3月小売売上高が市場予想を上回ったことで利下げ期待がさらに後退。起債アナウンスも重なりカーブはヘアステープ化。

【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。節目となる155円を前に介入警戒感が高まっている状況と考えられるものの、良好な米経済指標を受け利下げ観測が後退している中ではドル買い優勢の流れが継続する展開となりそうだ。

【本日の予定】

- (日本) 3月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
- (日本) 流動性供給入札
- (アジア) 1Q 中国 GDP
- (アジア) 3月 インドネシア 消費者信頼感指数
- (アジア) 3月 インドネシア 貿易収支
- (アジア) 3月 中国 固定資産投資 / 不動産投資 / 調査失業率
- (アジア) 3月 中国 新築住宅価格
- (アジア) 3月 中国 鉱工業生産 / 小売売上高
- (アジア) 休場 々
- (米国) 3月 住宅建設許可 / 住宅着工件数 / 建設許可件数
- (米国) 3月 製造業 / 鉱工業生産 / 設備稼働率
- (米国) 4月 ニューヨーク連銀サービス業活動
- (米国) デイリー・サンフランシスコ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、現実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。